



広報 おけと

KETO

2021

6



人と、木と、おけと

6/2 こどもセンターどんぐり菜園づくり



「大きなあれ」先生と一緒に苗植え



クラスごとにズッキーニ、なす、きゅうりなどを定植



J Aきたみらい青年部南支部による育食事業として、部員12人が菜園にヤーコンシ、かぼちゃ、じゃがいもなどを植えた

花いっぱいのもちづくり



5/29 境野郵便局前



5/30 若松自治会

ひとまち おけと



6/4 北光パーキングで自治連、ボランティアえぞまつ会、網走開発建設部などが協力し、1,570本を移植

置戸の情報をインターネットでチェック！



人と、木と、おけと



ホームページ



YouTube



まちをきれいに、2年振りのグリーン作戦

桜咲く5月9日、2年振りのグリーン作戦が行われ、町内の自治会や各団体、企業など約150人が参加し、道路脇のゴミを拾い集めました。同作戦は、全町ゴミゼロ運動推進計画の「町をきれいにする運動」の一環として、道路清掃や河川清掃を地域の皆さんの協力で行っています。昨年はコロナ禍のため中止となりました。2年振りの実施となり、集まったゴミは例年よりも多かったようです。



新型コロナウイルスワクチン接種始まる

5月11日から、65歳以上の高齢者を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。集団接種会場の中央公民館では、1日当たり90の方が接種を受けており、7月下旬までに2回目の65歳以上の方の接種を終える予定です。

町担当者は「現在、一般の方の接種予約を受け付けしています。お早めに返信用はがき、またはお電話でお申し込みください」と話しています。



釧北牧場の放牧始まる

陸別町との境界に広がる町営釧北牧場では5月24日から放牧が始まり、今年は町内外の約400頭の牛が入牧しました。トラックに乗って運ばれてきた牛たちは、耳標番号の確認や牛体消毒を済ませ、牧場へと駆け出しました。広々とした牧場へ放された牛たちは、10月下旬まで同牧場でのびのびと飼育され、一回り大きくなって各畜産農家のもとへ戻っていきます。



給食用牛乳パックのリサイクルを緑の募金へ

置戸小学校が1年分の給食用牛乳パックを回収し、資源回収業者から得た益金を緑の募金に寄付しました。緑の募金活動は、町緑化推進委員会が緑化の推進を目的として例年5月に実施。同小学校の募金協力は今回が初。5月26日、寄付金は、小木愛菜児童会長らから同委員会に手渡されました。佐藤章博校長は「資源回収は環境問題につながると考えて協力しました」と話しています。

後期高齢者医療制度のお知らせ

令和3年度の保険料のお支払いと 保険証（被保険者証）の一斉更新について

7月に保険料額をお知らせします

令和3年度の保険料につきましては、7月に個別にお知らせします。

《保険料の計算方法》

均等割
【1人当たりの額】
52,048円

+

所得割
【本人の所得に応じた額】
(令和2年中の所得－最大43万円) ×
10.98%

=

1年間の保険料
【限度額64万円】
(100円未満切り捨て)

- 1年間の保険料の上限額は、令和3年度は64万円になります。
- 年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。
- ※ 「所得」とは、前年の「収入」から必要経費(公的年金等控除額や給与所得控除額など)を引いたものです。

◆保険料の軽減

①均等割の軽減（年額）

- 軽減は被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。
- 被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。
- 65歳以上の方の公的年金等に係る所得については、さらに15万円を引いた額で判定します。

対象者の所得要件 (世帯主及び世帯の被保険者全員の軽減判定の所得額)	均等割の軽減割合
	令和3年度
43万円+10万円×(給与所得者等の数－1)	7割
43万円+(28万5千円×世帯の被保険者数) +10万円×(給与所得者等の数－1)	5割
43万円+(52万円×世帯の被保険者数) +10万円×(給与所得者等の数－1)	2割

※令和2年度に7.75割軽減該当だった方は、令和3年度より7割軽減に見直されました。

※給与所得者等とは、以下のいずれかに該当する方となります。

- ・給与等の収入金額が55万円を超える方
- ・公的年金の収入金額が60万円（65歳未満）、125万円（65歳以上）を超える方

②被用者保険の被扶養者だった方の軽減

- この制度に加入したとき、被用者保険の被扶養者だった方は、負担軽減のための特別措置として、所得割がからず、制度加入から2年を経過していない期間のみ均等割が5割軽減となります(52,048円→26,024円)。

※被用者保険とは、協会けんぽ等、主にサラリーマンの方々が加入している健康保険のことで、市町村の国民健康保険等は含まれません。

■保険料の減免

保険料のお支払いが困難な場合は、町民生活課医療給付係へご相談ください。

災害、失業などによる所得の大幅な減少、その他特別の事情で生活が著しく困窮し、保険料のお支払いが困難な方については、保険料の減免を受けられる場合があります。

保険料のお支払い方法

保険料のお支払いは、「年金からのお支払い」と「口座振替」を選ぶことができます。

「口座振替」を希望される方は、町民生活課医療給付係へお申し出ください。
(お申込みに必要なもの：ご本人の保険証・お支払いする口座の預金通帳とお届け印)

- 「年金からのお支払い」から「口座振替」に切り替わる時期は、お申し出の時期により異なります。
- 税申告の際の「社会保険料控除」は、お支払いする方に適用されます。
(年金からのお支払いの場合、お支払いいただくご本人の社会保険料控除の対象になります)

保険証が新しくなります(水色→黄緑色)

現在ご使用の水色の保険証の有効期限が本年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。

7月中に新しい保険証を交付しますので、お手元に届きましたら、黄緑色の保険証をご使用ください。

- 新しい保険証の有効期限は、令和4年7月31日です。
- 紛失したときや、汚れたときは再交付しますので、町民生活課医療給付係までお申し出ください。

新しい保険証は黄緑色です

後期高齢者医療被保険者証	
有効期限	〇〇年 7月 31日
交付年月日	〇〇年 7月 1日
被保険者番号	01234567
住所	広城市連合町1丁目
氏名	広城 太郎
性別	男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
医療取得年月日	平成 20年 4月 1日
発効期日	平成 20年 4月 1日
一部負担金の割合	1割
保険者番号並びに保険者の名称及び印	3901110000 北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

減額認定証(限度額適用・標準負担額減額認定証)も新しくなります(黄色→橙色)

現在ご使用の黄色の減額認定証の有効期限が本年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。有効期間は保険証と同じく1年間です。
引き続き交付対象に該当する方は7月中に減額認定証を交付しますので、8月1日からは橙色の減額認定証をご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、町民生活課医療給付係へ申請してください。

減額認定証の交付対象…次の区分Ⅰまたは区分Ⅱに該当する方

区分Ⅱ	○世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方
区分Ⅰ	世帯全員が住民税非課税である方のうち、次のいずれかに該当する方
	○世帯全員の所得が〇円の方 (公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下の方)
	○老齢福祉年金を受給されている方

新しい減額認定証は橙色です

後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証	
有効期限	〇〇年 7月 31日
交付年月日	〇〇年 8月 1日
被保険者番号	01234567
住所	広城市連合町1丁目
氏名	広城 太郎
性別	男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
発効期日	〇〇年 8月 1日
適用区分	区分Ⅱ
長期入院認定年月日	〇〇年 8月 1日
保険者印	印
保険者番号並びに保険者の名称及び印	3901110000 北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

限度証(限度額適用認定証)も新しくなります(黄色→橙色)

現在ご使用の黄色の限度証の有効期限が本年7月31日をもって満了となるため、8月以降は使用できなくなります。有効期間は保険証と同じく1年間です。

引き続き交付対象に該当する方は7月中に限度証を交付しますので、8月1日からは橙色の限度証をご使用ください。

新たに必要となる方は、下記の交付要件に該当することをご確認の上、町民生活課医療給付係へ申請してください。

限度証の交付対象…次の3区分のうち、現役並みⅠまたは現役並みⅡに該当する方

現役並みⅢ	住民税課税所得が690万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅡ	現役並みⅢに該当せず、住民税課税所得が380万円以上の被保険者と、その方と同一世帯にいる被保険者の方
現役並みⅠ	現役並みⅢ・Ⅱに該当しない3割負担の方と、その方と同一世帯にいる被保険者の方

新しい限度証は橙色です

後期高齢者医療限度額適用認定証	
有効期限	〇〇年 7月 31日
交付年月日	〇〇年 8月 1日
被保険者番号	01234567
住所	広城市連合町1丁目
氏名	広城 太郎
性別	男
生年月日	昭和 7年 7月 7日
発効期日	〇〇年 8月 1日
適用区分	現役Ⅱ
保険者番号並びに保険者の名称及び印	3901110000 北海道後期高齢者医療広域連合 公印(朱)

【お問い合わせ】

町民生活課医療給付係(☎52-3315) または北海道後期高齢者医療広域連合(☎011-290-5601)

65歳以上の方の 介護保険料が決まりました

今月の担当

地域福祉センター
介護保険係長

表 祐太郎

地域福祉センター介護保険係
(☎52-3333)

65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、介護保険サービスにかかる費用などから算出された「基準額」をもとに、所得や課税状況に応じて9段階に設定しています。

今期、第8期介護保険事業計画（令和3年度から令和5年度）の策定に合わせて、保険料の基準額が見直されました。同計画では、各種介護サービスの利用者数を推計し、サービスにかかる費用などから保険料を算出しました。

その結果、保険料の引き上げは行わず、前期（平成30年度から令和2年度）と**同額の月額4,200円（年額50,400円）に据え置きとなりました。**介護保険は皆さんからの保険料が大切な財源です。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

■第1号被保険者の保険料の納め方

○特別徴収

老齢・退職年金、障害年金、遺族年金の受給額が年額18万円以上の方は、年金の定期支払の際に保険料を天引きします。納付手続きの必要はありません。

○普通徴収

老齢・退職年金、障害年金、遺族年金の受給額が年額18万円未満の方、年度途中で、65歳となった方や置戸町に転入された方などは、町から送付する納付書または口座振替で納めます。

■40歳以上64歳以下で医療保険に加入している方（第2号被保険者）の介護保険料

加入している医療保険の算定方式に基づいて決められます。医療分と介護分を一括して、それぞれの医療保険の保険者に納めます。

■65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料（令和3年度から令和5年度）

区 分	所 得 区 分	基準額に 対する割合	保険料（年額） 保険料（月額）
第1段階	・生活保護を受けている方 ・老齢福祉年金の受給者で世帯全員が住民税非課税の方 ・世帯全員が住民税非課税で、前年の年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	40%	20,160円
			1,680円
第2段階	・世帯全員が住民税非課税で、前年の年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超えて120万円以下の方	50%	25,200円
			2,100円
第3段階	・世帯全員が住民税非課税で、前年の年金収入額と合計所得金額の合計が120万円を超える方	70%	35,280円
			2,940円
第4段階	・本人が住民税非課税（世帯に課税者がいる場合）で、前年の年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	87.5%	44,100円
			3,675円
第5段階	・本人が住民税非課税（世帯に課税者がいる場合）で、前年の年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	100% 【基準額】	50,400円
			4,200円
第6段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の方	120%	60,480円
			5,040円
第7段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の方	130%	65,520円
			5,460円
第8段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の方	150%	75,600円
			6,300円
第9段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上の方	170%	85,680円
			7,140円

おけとのまちづくりのために 寄附金の使いみち



限られた町の財政状況の中、皆さんから寄せられたご厚意は、貴重な町の財産となっています。いただいた寄附金は、次の11項目の町の事業で活用します。事業のなかには、基金に積み立てを行い、将来事業を展開するための財源として、まちづくりに役立てています。

寄附金が集まり財源が充実すると、さまざまな事業に取り組むことができます。人材育成事業や「福祉の夢」サポート事業は、町内の子どもたちの進学支援や置戸高校生への支援に活用しています。

事業名	事業内容
ふるさと応援事業	地域振興・活性化のために活用
元気だすべし事業	移住・定住及び起業する方への支援・基金への積立 今年度からの新規事業
人材育成事業	学校・各種教育機関に通う方へ修学援助・基金への積立
「福祉の夢」サポート事業	置戸高校在校生を対象とした奨学金として活用・基金への積立
図書資料整備事業	図書の購入や収集のために活用・基金への積立
18歳の春旅立ち応援事業	置戸で育った子どもに社会への旅立ち支援として活用・基金への積立
社会福祉施設充実事業	社会福祉施設の充実に活用・基金への積立
老人ホーム施設整備事業	老人ホーム施設の整備に活用・基金への積立
夏まつり振興事業	「おけと夏まつり・人間ばん馬大会」の振興のために活用・基金への積立
農業振興事業	農業の振興を図るために活用・基金への積立
一般寄附金	町のさまざまな事業推進のために活用

※基金…将来の財政課題や特定の目的のため、積み立て・運用する「町の貯金」のこと

知っていますか？ふるさと納税

ふるさと納税は都道府県、市町村への「寄附」です。多くの方が、ふるさとの自治体から医療・教育などのさまざまな住民サービスを受けて育ちます。やがて進学・就職を機に生活の場が都会に移り、そこで生活を営み、納税することになります。その結果、都会の自治体は税収を得ますが、自分が生まれ育った故郷の自治体には税収が入りません。

ふるさと納税では、今住んでいる都会ではなく、自分を育ててくれた「ふるさと」や自分が応援したい自治体に、自分の意思で寄附先を選択して納税することができます。

この制度は、皆さんが「まちを応援したい気持ち」を伝える手段であり、自治体にとっては、あらためてまちづくりを考えるきっかけとなるものです。

まちづくりのためのふるさと納税返礼品

現在、町ではふるさと納税をされた方に対して、特産品の贈呈（返礼品）は行っていません。本年10月（予定）より、ふるさと納税をされた方へお礼の品を贈ることができるように準備を進めています。まちの特産品やPRにつなげるために、インターネット上の大手ポータルサイト4社と連携予定です。

今後、新しい返礼品を考案するなど、ふるさと納税を通して、地域の皆さんのご理解とご協力で置戸町の地場産業の振興を図ります。返礼品が決まりましたら、広報などを通して皆さんにお知らせします。

10月開始予定の返礼品取扱事業者の公募は、受け付けを締め切りました。今後、返礼品の提供を希望する事業者については、随時ご相談ください。詳しくは企画財政課企画係（☎52—3312）までお問い合わせ願います。



工房 清田

(拓殖)

きよ た まさ お
清 田 雅 夫さん

■モノづくりで大切にしていること

モノを作るうえでは、一つひとつの工程で手を抜かないことです。例えば、木の葉の箸置きは月に100から200個作ります。その中には1個くらい出来の悪いものが混じってしまうこともあるかもしれない。けれども、お客さんにとっては、1個の中の1個。だから手を抜かないようにしたいと思っています。

■利用されていない材、だからこそやってみたい

シラカバの材を扱う技術は、研修時代に教えてもらいました。アテ（偏芯）材を有効活用したオケクラフトと同じで、シラカバも木材としては利用されず、市場では流通していません。だからこそシラカバでやってみようと思いました。

シラカバの丸太は毎年12月になると、作り手4人で皮を傷つけないようにチェーンソーを使い、町内の山から1本ずつ伐り出しています。

清田雅夫さんプロフィール

兵庫県出身、60歳。平成13年5月、オケクラフト時松塾に入塾。家族4人で置戸町に移住。平成15年、共同工房で生産活動を開始。平成17年、拓殖に工房を開設。



「毎日使ってもらえるのが大事なことで、作り手として一番の喜びです」と語る清田さん



主にシラカバを材料としてボウル、椀、皿、箸置きなどを製作



皮を残した浅鉢と木の葉型の箸置きは、木の特徴を活かしたデザイン

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

5月25日の正午、見る見るうちに空が暗くなり雷鳴が轟くと、局地的な豪雨となりました。翌日、現場に向かい、農業者から「もう少し雨が長く降ったら大変だった」という言葉を聞きました。移植作業を終えた畑が無事だったと確認でき、胸を撫でおろしました。昭和47年7月1日、秋田地区で200haの作物が壊滅した降雹被害の記録があります。『災害は忘れた頃にやってくる』ということわざがあるように、暖かくなっても気を抜くことはできません。

さて、置戸赤十字病院の全面協力のもとで、新型コロナウイルスワクチン接種が順調に進んでいます。接種を受けた方から「安心した。スムーズに接種できて、本当に置戸はいいわ」という話をお聞きします。コロナが終息するまでは、継続して感染予防に十分気を付けていただきたいと思います。

町の人口は4月末2,752人で、昨年の4月より52人減少しましたが、先月は、近年にない20人の増加となりました。役場には町外の方からの移住や起業の相談も増えています。

町長就任からあつという間に1年が経ちました。過疎化に歯止めがかけられるようスピード感をもって町政を進めてまいります。今後とも皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。皆さまの笑顔がまちいっぱいにあふれる日が早く来るように、澄み渡る6月の空を見上げて願います。

わが家の アイドル



かのん ●5歳1カ月
●中央
齊藤 花音ちゃん
齊藤 弓恵さんのお子さん

歯医者さんになりたい!

4月から、こどもセンターどんぐりに通っている花音ちゃん。家では、大好きなおままごとやなわとびでよく遊んでいるそうです。最近、中央公民館前庭の「あそびーば」がお気に入り。滑り台やスカイロープが大好きです。お誕生日の贈り物は、鬼滅の刃に登場する櫛豆子の竹と、爪に塗るネイルなどのコスメグッズ。好きな食べ物は、イチゴ、スイカ、カレーライス。将来の夢は歯医者さん。はにかみながらも笑顔で答えてくれた花音ちゃん。そんな我が子のことをお母さんは「何事もなく健やかに、のびのびと育ててほしいです」と温かく見守っています。

今晚つくれる! 食改さんの かんたんレシピ



さばの味噌煮
レンジで

1人分 259 kcal 食塩相当量2.3g

材料(2人分)

さば切り身2枚(140g)

しょうが少量

A 味噌大さじ2、酒大さじ2

砂糖大さじ2、水大さじ2

作り方

- ①さばは皮に切れ目を1本入れておく。
- ②しょうがは皮をむいて薄切りにしてから千切りにし、水に放す。
- ③耐熱容器にAを入れて混ぜ、①のさばを皮を上にし、Aをすくって上からもかける。
- ④③にラップをふんわりかけ、電子レンジで加熱する。(500wで4分30秒)
- ⑤皿に④を盛り付け、汁をかけ、②のしょうがをのせて完成。

ワンポイント

加熱時にさばが破裂しないように皮に切れ目を入れておきましょう。

置戸町に来た方
を紹介する

みなさん、こんにちは



はぶき きよとし
葉葺 清敏さん

置戸中学校
校長

【出身は】埼玉県ふじみ野市

【ご家族は】妻

【前任地は】大空町東藻
琴中学校

【趣味は】野球(ポジションは投手)

【おけとの印象】施設が充実。校舎もきれいです。

【皆さんへ一言】夏まつりが中止になり残念です。行事に参加し、地域の皆さんと交流を図りたいと思っていますので、よろしくお願いします。



なかにし たかのり
中西 貴徳さん

勝山駐在所
巡査部長

【出身は】札幌市

【ご家族は】両親と弟

【前任地は】豊平警察署で
交番勤務をしていました。

【趣味は】釣りやキャンプなどアウトドア

【皆さんへ一言】今年の4月1日付けで勝山駐在所に来ました。駐在所勤務は初めてですが、町民の皆さまのために頑張っていきますので、よろしくお願いします。



緊急情報をいち早く入手！ 情報メールおけとを登録しよう

メール配信システム「情報メールおけと」を利用登録することで、お持ちの携帯電話やスマートフォンに置戸町の緊急情報、新型コロナウイルス感染症関連情報などをいち早くお届けします。安心安全のため、皆様のご登録をお願いします。

■情報メールおけと登録方法■

①空メールを送信する

touroku@i.town.oketo.hokkaido.jpに空メールを送信します。または次のQRコードを携帯電話等のカメラで読み取り、空メールを送信します。
※注意 携帯電話でドメイン指定受信（迷惑メール対策・受信拒否等）を設定している方は、i.town.oketo.hokkaido.jpのドメインを受信できるように指定してください。



②確認メールが届く

送信後、数分以内に登録用URLが記載されたメールが届きます。メール本文内の登録用URLを選択し、注意事項やメールアドレスなどの内容を確認してください。

③本登録を行う

メール内容の確認をした後、配信カテゴリを選択し、【メール配信登録】をクリックしてください。

緊急情報と防災情報は必須です。防犯情報、置戸町からのお知らせも選択をおすすめします。

④登録完了

登録が完了した後、数分以内に登録完了のお知らせメールが届き、手続きは終了です。

このメールには登録内容変更用のURLが記載されています。

※情報メールおけとについて詳しくは、町ホームページをご覧ください。総務課防災係までお問い合わせください。

■お問い合わせ 総務課防災係（☎52-3311）

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

○米村 光翔 女児 直桜（なお） 協生 5/11
菜々美

■お悔やみ申し上げます

○柏原 キメヨ	94歳	常楽園	5/4
○木村 富美子	79歳	中里	5/5
○黒河 フジ	103歳	常楽園	5/12
○廣中 明義	73歳	心和	5/22
○東海林 光男	82歳	境野中央	5/25

編集後記

☆新緑の美しい季節。紫外線とソーシャルディスタンスに気を付けて、短い夏を楽しみます。☆5月号の記事訂正：裏表紙に記載しました「クマネシリ」は、「東大雪の山々」の誤りでした。お詫びいたします。㊦

人の動き

●世帯数	1,416世帯（±0世帯）
●人 □	2,746人（-6人）
●男1,270人（-3人）女1,476人（-3人）	

令和3年5月31日現在（ ）内は4月末比

■今月号の表紙：5月24日、釧北牧場の入牧作業が行われました。置戸町史によると同牧場は、昭和17年より軍用馬保護育成の名目で国・道有林の貸し付けを受けて放牧地として利用していました。昭和22年の事務報告には、6月から10月の間、延べ2,500頭の馬を放牧したと記されています。